



大日本塗料株式会社

2025年度 中間期 決算説明資料

東証プライム：4611

2025年11月17日

FY25 中間業績ハイライト

売上高	45,965 百万円	中間予想比 +1.5% 前年同期比 +27.2%
営業利益	1,817 百万円	中間予想比 △15.4% 前年同期比 △28.0%
親会社株主に帰属 する中間期純利益	1,405 百万円	中間予想比 +0.4% 前年同期比 △48.3%

FY25通期 業績予想（修正）

売上高	92,000 百万円	期初予想比 ±0% 前期比 +26.9%
営業利益	4,100 百万円	期初予想比 △18.0% 前期比 △13.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,900 百万円	期初予想比 △14.7% 前期比 △69.3%
配当予想	1株当たり 58 円	前期比 +9円増配予定 (※変更なし)

【中間実績】

各種コスト増を塗料分野における販売で吸収できず、減益。計画に対してもビハインド。
一方でインク・分散分野は着実に増加。照明機器においても計画通りの進捗。

【業績予想】

2025/11/7公表の決算短信において、利益面の通期業績予想を下方修正。中間期業績および決算短信の公表時点でJISマーク表示の一時停止処分が未解除であることを踏まえたもの。

Part I . 決算実績・業績予想 p. 2

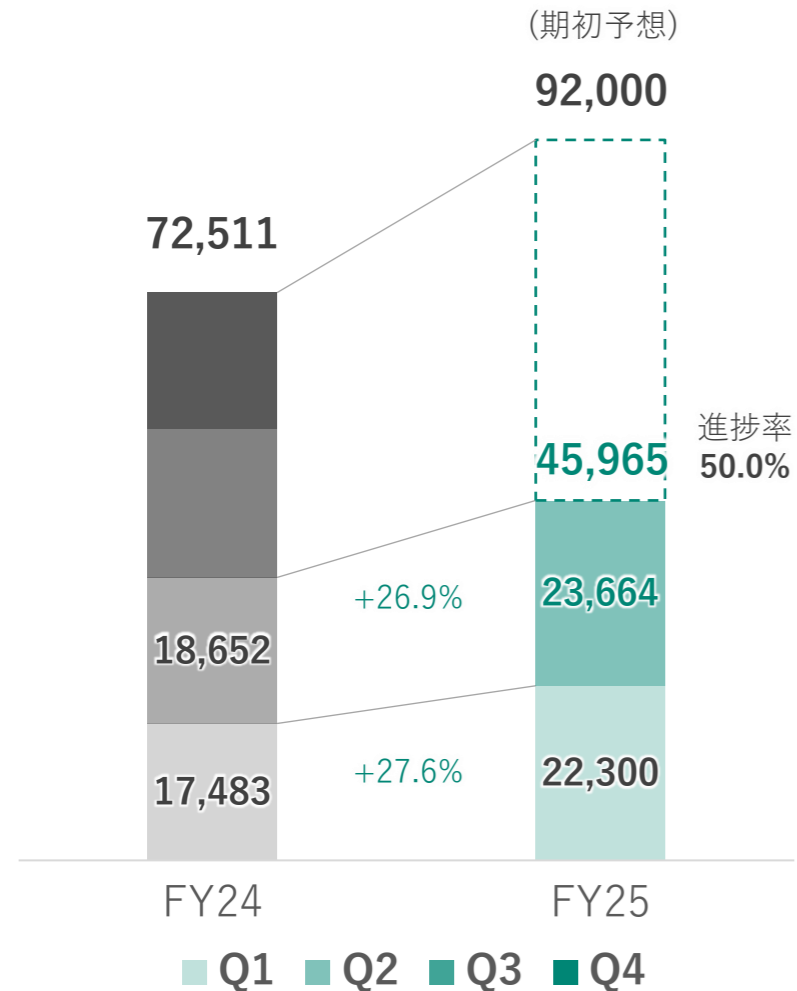
Part II . 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 27

2025年度中間期 連結損益の状況

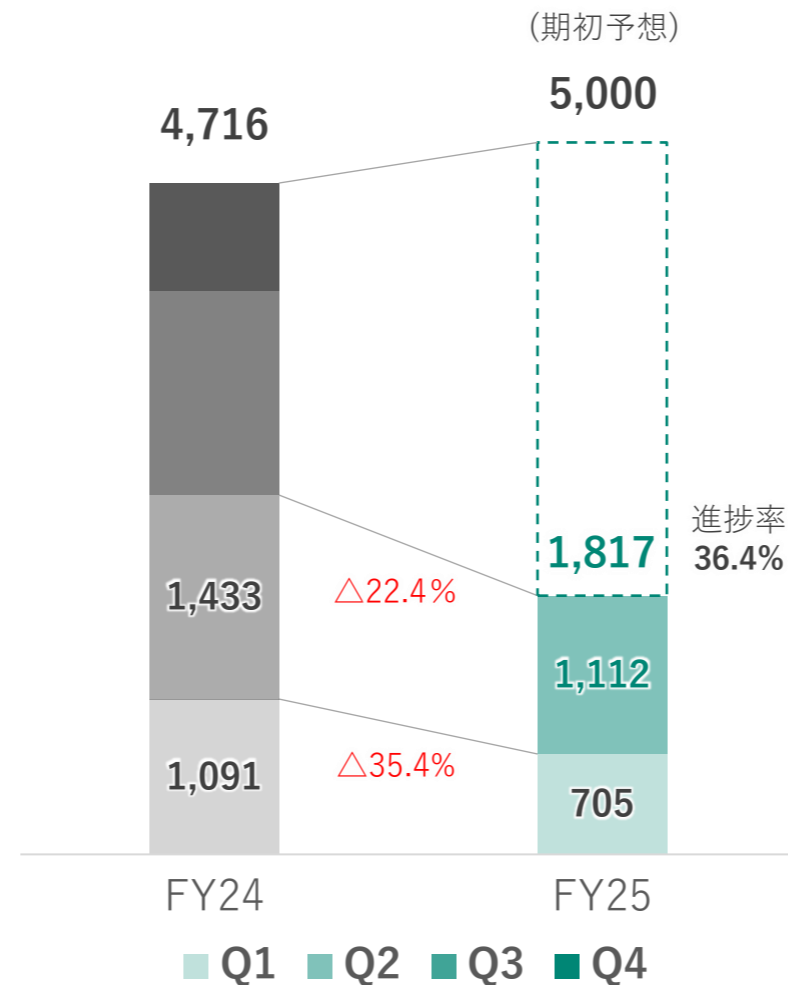
売上高

- 国内塗料においてJIS影響が残る。
- 神東塗料の連結寄与により増収。



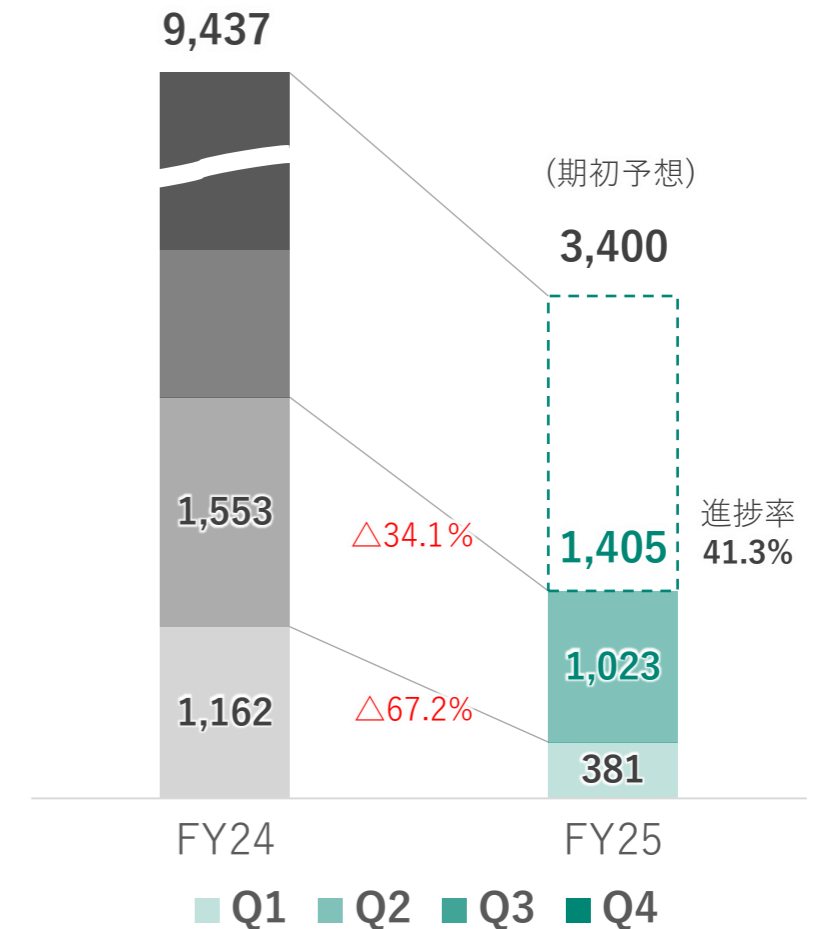
営業利益

- 販売の伸び悩みによる収益性の低下
および人件費や減価償却費等の経費
増加により、減益。



親会社株主に帰属する当期純利益

- 政策保有株式の縮減を継続実施。



神東塗料の連結寄与による増加やインク/分散において販売拡大も、コスト増加を吸収できず減益。

(百万円)	FY24 中間	FY25 中間	前年同期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	25,602	35,466	+ 9,864	+ 38.5%	
一般用分野	10,694	10,135	△ 559	△ 5.2%	・ JIS影響の継続により販売が低調に推移。
工業用分野	9,134	9,027	△ 107	△ 1.2%	・ 自動車部品用途などの一部市況が低調に推移。
インク/分散/他	2,111	2,056	△ 55	△ 2.6%	・ インク/分散分野は新規顧客の獲得もあり増収。 ・ 「他」に含むリフォーム事業が減収基調。
子会社/調整	3,661	3,985	+ 323	+ 8.8%	・ 販売子会社の好調な業績により増収。
神東塗料	-	10,262	+ 10,262	-	
営業利益	1,128	542	△ 586	△ 51.9%	・ 製品ミックスの改善や価格是正に取り組むも、 販売低調による収益性低下および人件費増やシス テム更新や設備投資による償却費増により減益。
営業利益率	4.4%	1.5%	△ 2.9p	-	

低調な東南アジア市況を堅調なメキシコでカバー。取引先拡大に注力。

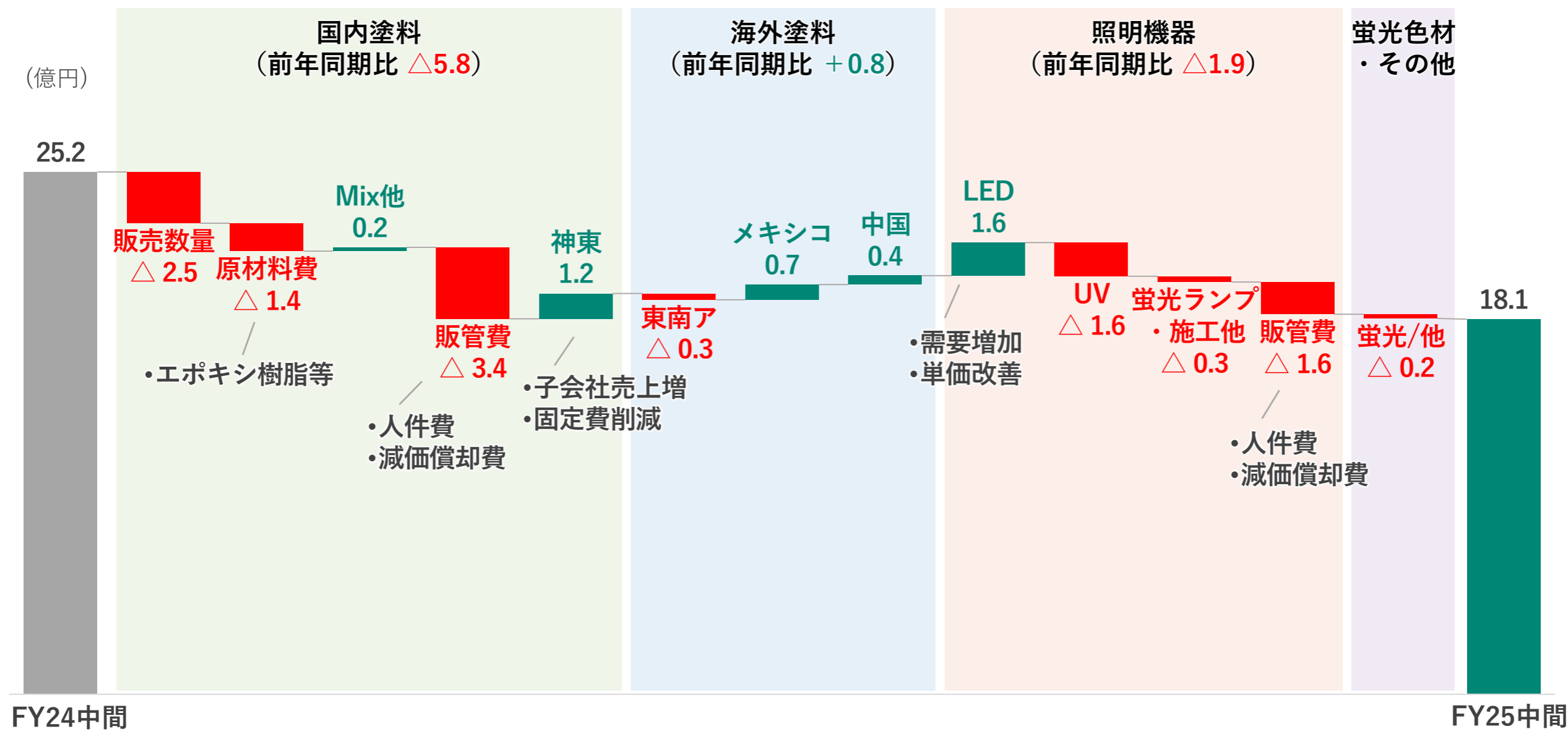
(百万円)	FY24 中間	FY25 中間	前年同期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	4,121	4,155	+ 33	+ 0.8%	
東南アジア	2,684	2,865	+ 180	+ 6.7%	・ 日系自動車メーカーの生産低迷による影響で需要が減少。 ・ 神東塗料グループの連結寄与により微増収。
メキシコ	950	885	△ 64	△ 6.8%	・ 日系自動車メーカーの生産増加により販売堅調。 ・ 低採算品の販売抑制や、前年同期比でペソ/円が円高となった影響で円貨では減収。
中国	486	404	△ 81	△ 16.8%	・ 各種工業用途において需要が減少。
営業利益	154	239	+ 85	+ 55.8%	・ メキシコにおける収益改善が寄与。
営業利益率	3.7%	5.8%	+ 2.0p	-	

コスト増により減益も、LEDは旺盛な需要環境が継続し、計画通りの進捗。

(百万円)	FY24 中間	FY25 中間	前年同期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	4,933	4,877	△ 56	△ 1.1%	
LED	3,531	3,843	+ 312	+ 8.8%	・再開発案件を中心とした商業施設向けや宿泊施設向けにおいて堅調な需要。
UV	531	358	△ 172	△ 32.5%	・大口の特定顧客向けの需要減少。
蛍光ランプ/ 施工/他	870	674	△ 195	△ 22.5%	・蛍光ランプの市場縮小による需要の減少。
営業利益	1,030	844	△ 186	△ 18.1%	・価格戦略により製品収益性の改善は進展。 ・本社移転に伴う減価償却費の増加や人材の確保、
営業利益率	20.9%	17.3%	△ 3.6p	-	・育成に向けた人件費の増加により減益。

2025年度中間期 連結営業利益の増減要因（前年同期比）

国内塗料の数量減・コスト増影響が大きく、減益。



政策保有株式の縮減、借入活用により設備投資の積極化を進める。

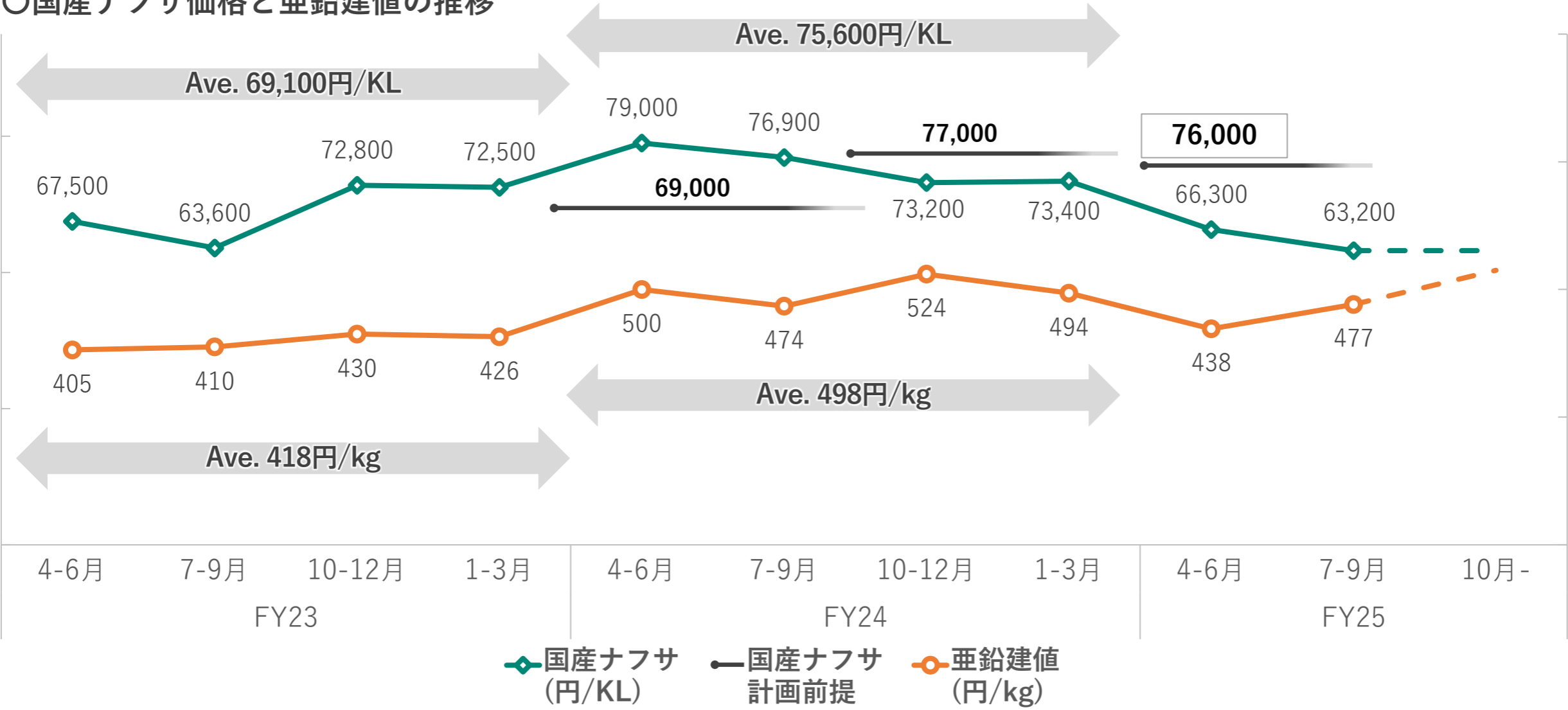
	2025年3月末	2025年9月末	増減額	備考
資産合計	133,344	134,195	+ 851	
流動資産	53,066	52,974	△ 92	
有形固定資産	46,040	47,112	+ 1,072	物流効率化投資9億円等、効率化投資を加速
無形固定資産	1,410	1,274	△ 136	
投資その他の資産	32,826	32,834	+ 8	
負債合計	57,173	59,145	+ 1,971	
(うち 借入金)	(11,576)	(13,426)	(+ 1,850)	投資対応で借入金活用
純資産合計	76,170	75,049	△ 1,120	
(うち 株主資本)	(54,515)	(54,590)	(+ 74)	
負債・純資産合計	133,344	134,195	+ 851	
自己資本	65,027	64,086	△ 940	為替換算調整勘定△628
自己資本比率	48.8%	47.8%	△ 1.0p	積極投資と借入活用で自己資本比率を抑制

品質事案の影響等で営業CFは伸び悩む。
資金需要は借入活用に加えて、政策保有株式および固定資産の売却で対応。

	FY24中間	FY25中間	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	2,430	1,393	△ 1,037	国内塗料の低調による利益減
投資活動による キャッシュ・フロー	155	△ 1,517	△ 1,673	設備投資の増加 投資有価証券売却高の減少
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,300	170	+ 1,470	借入活用による増加
現金及び現金同等物に 係る換算差額	216	△ 297	△ 513	
現金及び現金同等物の 増減額	1,502	△ 251	△ 1,753	
現金及び現金同等物の 期首残高	7,867	11,469	+ 3,601	
現金及び現金同等物の 期末残高	9,370	11,218	+ 1,847	

国産ナフサ価格の下落により溶剤類は価格下落も、樹脂等の加工品目への影響は限定的。

○国産ナフサ価格と亜鉛建値の推移

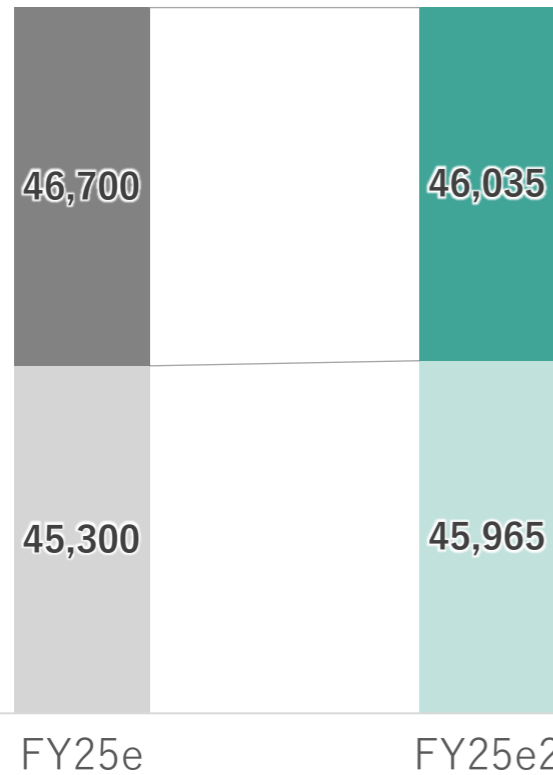


2025年度通期 連結業績予想（修正）

売上高

- 販売は弱含みも、子会社の売上が下支えし、期初予想を据え置く。

(期初予想) 92,000 ±0 (修正予想) 92,000

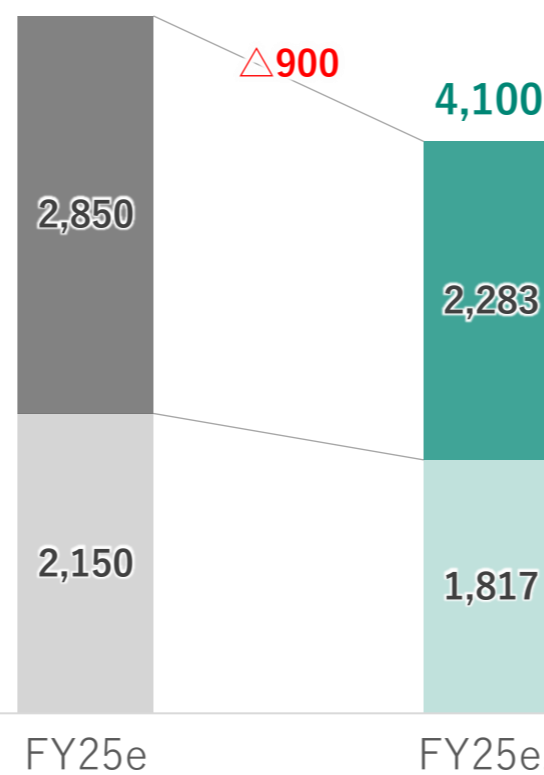


■ 中間 ■ 下半期

営業利益

- 塗料販売の本格的な回復目処が立たないことから、コスト増の吸収が難しく、減額。

(期初予想) 5,000 (修正予想) 4,100

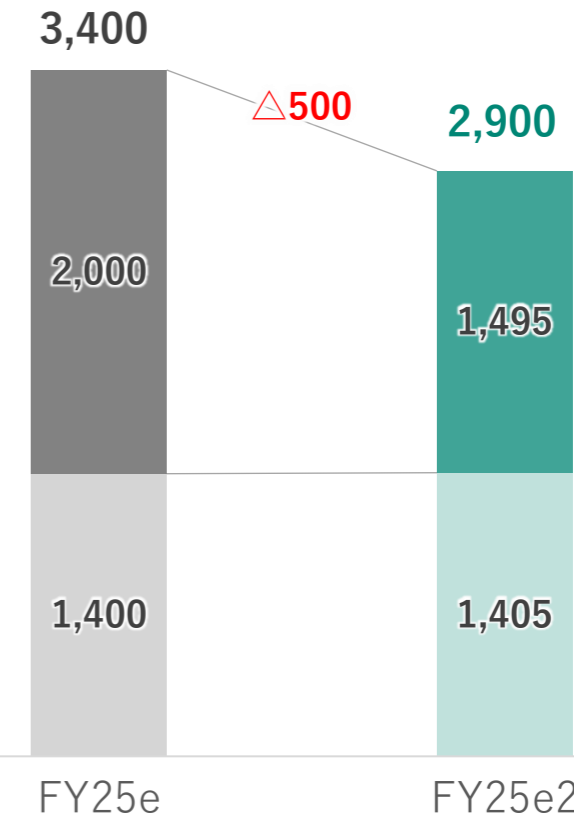


■ 中間 ■ 下半期

親会社株主に帰属する当期純利益

- 下半期においても政策保有株式の縮減を計画も、期初予想比では減額。

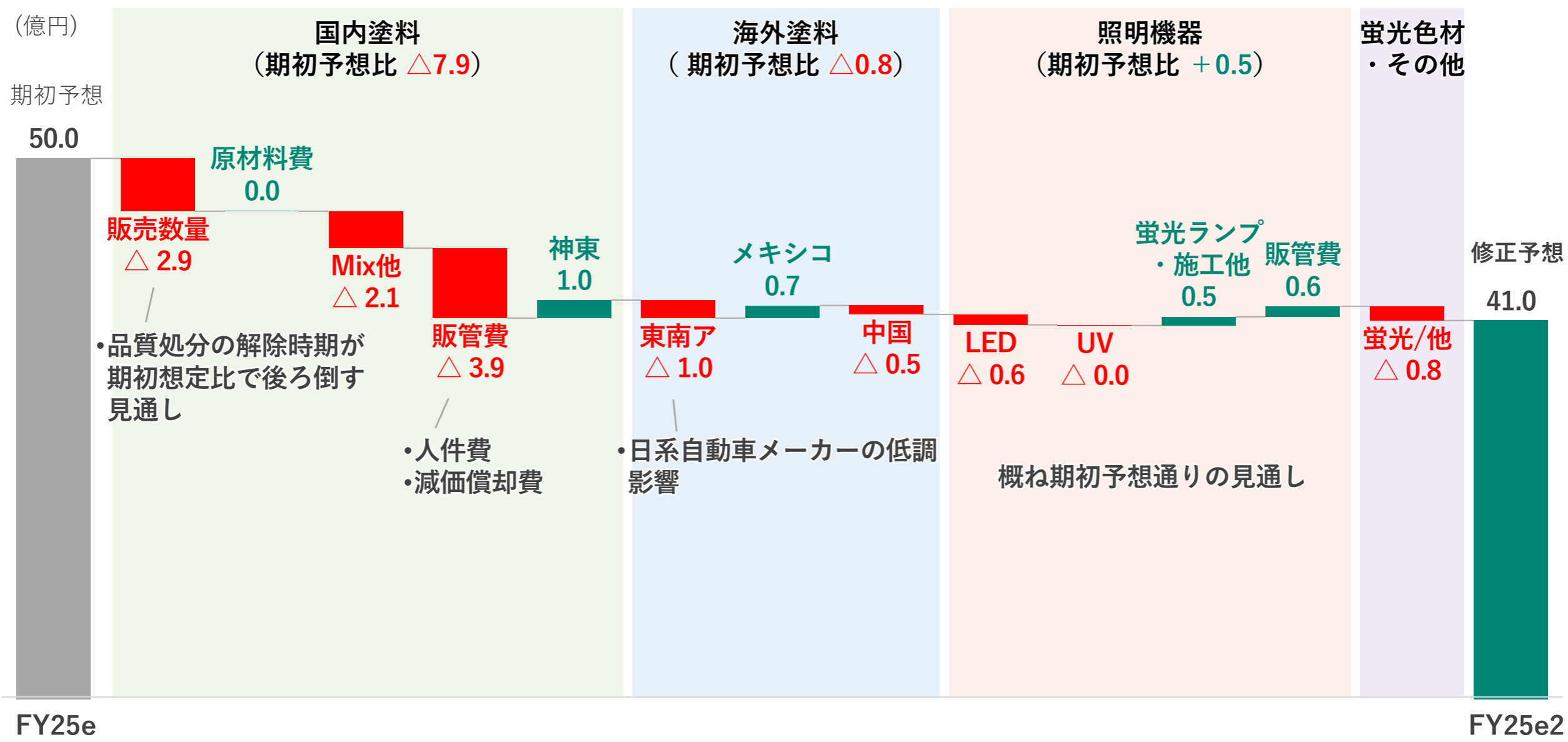
(期初予想) 3,400 (修正予想) 2,900



■ 中間 ■ 下半期

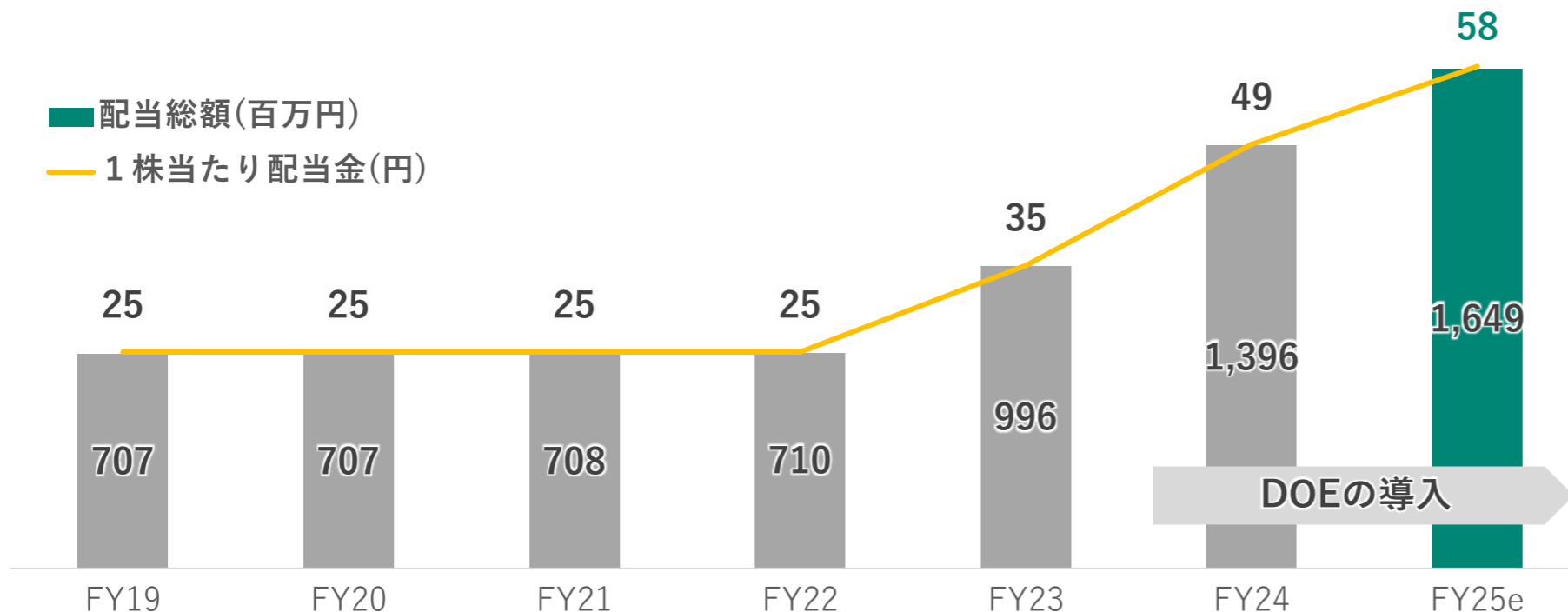
2025年度通期 連結営業利益の増減要因（期初予想比）

国内塗料の数量回復遅れおよびコスト増により、期初予想から減額。



DOE3.0%を基準に、2025年度も積極的な株主還元を計画。3期連続増配へ。

○株主還元の推移



2024年度

1株当たり **49円**
FY2023比 +14円 (+40%)

2025年度計画

1株当たり **58円**
FY2024比 +9円 (+18%)

積極的・安定的な
株主還元により
資本の過度な蓄積を抑制

株主還元方針

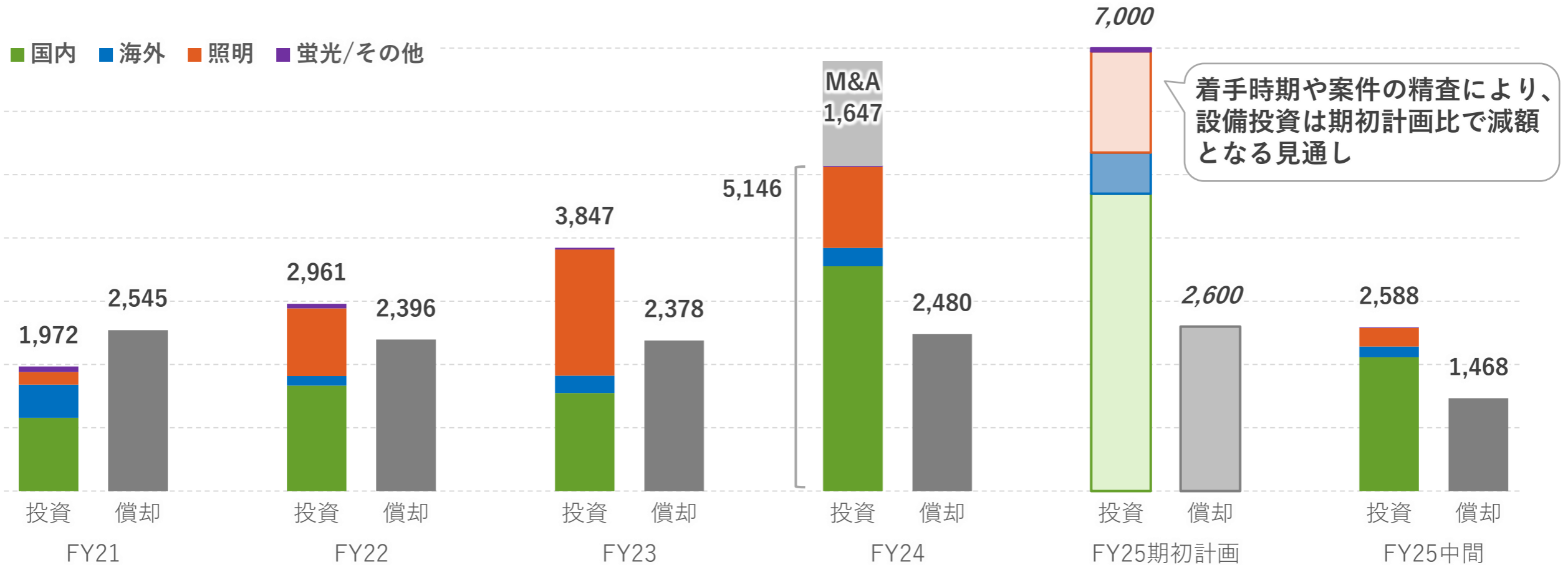
- ・ 長期安定的な配当を目指し、株主還元指標に**DOE：株主資本配当率**を採用。
- ・ 2026中計期間（2024年度～2026年度）は**DOE3.0%**を基準とし、次期中計最終年度となる2029年度までに5.0%到達を目標とする。（株主資本は前期末基準）
- ・ 自己株式の取得は、市場環境や資本効率等を勘案し、必要と判断した場合は適切な時期に実施。

キャッシュアロケーション方針に基づき、積極的な設備投資を継続。

○ FY25の主な設備投資計画

国内塗料 物流効率化/職場環境改善 20億円、工場(効率化,能増,安全,更新)20億円

照明機器 工場増改築(効率化・能増)11億円、ショールーム機能強化/職場環境改善他 5億円



Part I . 決算実績・業績予想 p. 2

Part II . 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 27

神東塗料の連結化によりビジョン2029の売上高目標は射程圏も、一方で収益率改善に課題が残る。
新規連結子会社との協議を進め、ビジョン2029のローリングを検討。

(百万円)	FY24 実績	FY25 修正予想	FY26 中計	ビジョン 2029	取り組み方針・今後の見通し
売上高	72,511	92,000	80,000	100,000	<ul style="list-style-type: none">事業ごとに濃淡をつけつつ、全体としての数量は維持～増加を目指し、平均単価を改善していく。ビジョン2029の売上高目標1,000億円に向けてはM&Aを前提とする。 → 神東塗料の連結化により、売上高は射程圏内。 → 新たにAGCコーテックを連結化（2025/12予定）。オーガニック成長と新規連結子会社とのシナジー創出により成長を追求する。
営業利益 (営業利益率)	4,716 (6.5%)	4,100 (4.5%)	8,000 (10.0%)	10,000 (10.0%)	<ul style="list-style-type: none">付加価値の高い製品群へのシフト、成長ドライバーに位置付ける事業の拡大による利益率改善。外部リソース活用を含めた事業構造の抜本的改善や生産性向上を推進。 → 調達面や技術的アプローチからの製品収益性の改善と、あらゆる合理化策を組み合わせた総合的な収益力強化を図る。
NOPAT -ROE	5.3%	4.4% (概算予想)	8.0% 程度	8.0% 程度	<ul style="list-style-type: none">積極的な株主還元と成長分野への投資、適切な設備刷新により、自己資本の過剰な蓄積を抑制。 → 自己資本比率は50%以下への抑制継続。株主還元は3期連続となる増配を予定。設備投資はCF状況鑑みつつ実行。

重点施策		取り組み内容	国内	海外	照明	他
成長市場と 先駆的領域 への注力	①事業の位置づけ 整理	<ul style="list-style-type: none"> 中国事業の見直し検討(海外) → 事業譲渡や生産委託等も視野に入れ、特定顧客と交渉中。 → 継続協議中。 ハイグレード住宅市場への注力強化(照明) → 社内組織を見直し、戦略を再検討。まずはストック住宅市場へ注力。 	—	✓	—	—
	②戦略投資の実行	<ul style="list-style-type: none"> クマロン樹脂製造の収益率向上とBCP強化を目的とした蒸留塔更新(国内) 照明機器の生産効率化および能増を図る工場増改築着工(照明) 	✓	—	✓	—
	③製品開発強化	<ul style="list-style-type: none"> 細胞外小胞を検出可能な試薬キットExorapid-qIC® の新製品発売(国内) → 試験結果の定量測定システムをTOPPANと共同開発、米国への展開も進める。 → 欧州21か国、中国、台湾への販路を構築。海外展開を進める。 技術開発センター立ち上げ(照明) → 製品改良、ラインナップの拡充進展。屋外用途などの戦略市場の開発強化が可能に。 染料、薬剤の安全性に関する国際認証[エコテックス®エコパスポート]取得(蛍光) 	✓	—	✓	—

【凡例】 — 検討中、✓ 着手、○完了

2026中計における重点施策の進捗（2/2）

重点施策	取り組み内容	国内	海外	照明	他
外部リソース獲得・活用による事業基盤の拡大	④塗料事業の基盤拡大・神東塗料連結化	✓	✓		
	⑤事業の抜本的効率化・AGCコーテック連結化（2025年12月下旬予定）	✓	—	—	—
	⑥設備刷新・DXによる生産性向上				
人材及び事業活動の全社最適化	⑥設備刷新・DXによる生産性向上				
	⑦人と組織の全社最適化	✓	✓	✓	✓
	⑧組織間協働の強化	✓	—	✓	—

【凡例】 — 検討中、✓ 着手、○完了

事業の抜本的な効率化に不可欠な各セクションにおける将来的な機能の一本化を目指した検討を進める。

サプライチェーンマネジメントの最適化

調達

- 調達機能の一本化（ボリュームディスカウント、業務効率の改善による固定費削減）

生産

- 製造ライン再編や総合的な最適化
- 品質管理、労働安全管理の高度化

販売

- 製品相互供給によるラインナップ補完
- 物理的な営業拠点の集約

物流

- 保管・荷役業務の一本化
- 共同輸送による積載・輸送効率の改善

お客様

その他

- 技術開発領域における協創、棲み分けの区分明確化
- 業務システムの統合、本部コストの圧縮

原材料調達の最適化

DNT工場

DNT調達部門

交渉・仕入（個別）

原材料仕入先

現状イメージ
神東工場

神東調達部門

交渉・仕入（個別）

- 現状は2社間での情報共有を踏まえ、**各社において調達コストダウン**を追求。
→ FY25において 2社合計で**1億円**の効果見込み。
- 今後、更なるコストダウンに向けて、原材料品目ごとのまとめ購買や、調達機能の一本化を目指して取り組む。

DNT工場

調達部門(集約)

交渉・仕入（一括）

原材料仕入先

将来イメージ
神東工場

事業提携コミッティ傘下に各分科会を立ち上げ、短期・長期両面からシナジー効果を発揮する体制を構築

	FY25	FY26	FY27	FY28	FY29	期待効果額	取り組み状況
調達						3 億円	<ul style="list-style-type: none">仕入先や原材料品目情報、コストダウンに向けた取り組みを共有し、各社において調達コストの低減を図る。
生産						7 億円	<ul style="list-style-type: none">品種別製造実績や製造原価構成について共有。最適化に向けた初期的検討に着手。
人財						—	<ul style="list-style-type: none">持続可能な経営体制構築に向けたサクセSSIONプランの検討着手。
その他						5 億円	<ul style="list-style-type: none">海外市場拡大に向けてDNTと神東海外子会社や海外JV先との協議、テーマアップを開始。分析や特許管理業務の効率化に向けて協議。業務システムの共通化やコストダウンについて検討開始。環境安全・リスクアセスメント、GHG排出量の削減等のベストプラクティスに向けて協議。
販売・物流						算定中	<ul style="list-style-type: none">相互の製品ラインナップ補完に向けて、一部製品は供給開始。地区別での共同配送、保管・荷役の諸条件について協議。調色業務の効率化や合理化に向けた検討着手。

○ 効果発現目標 ● 最大効果到達目標

DD時の想定効果

本件子会社化の概要

1. AGCコーテックの概要

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 建築用・工業用・防食用各種フッ素樹脂塗料の製造販売 建築用仕上塗料・塗材の販売 電子部材・フィルム等のフッ素樹脂コーティング材の製造販売
資本金	300百万円（出資比率：AGC90%、DNT10%）
事業所	本社：東京都千代田区 工場・開発部：千葉県鎌ヶ谷市 西日本支店：大阪市北区

2. 取引の概要

株式契約締結日：2025年8月29日
 株式譲渡実行日：2025年12月下旬予定
 連結時期（予定）：【B/S】2025年12月末
 【P/L】2026年1月～

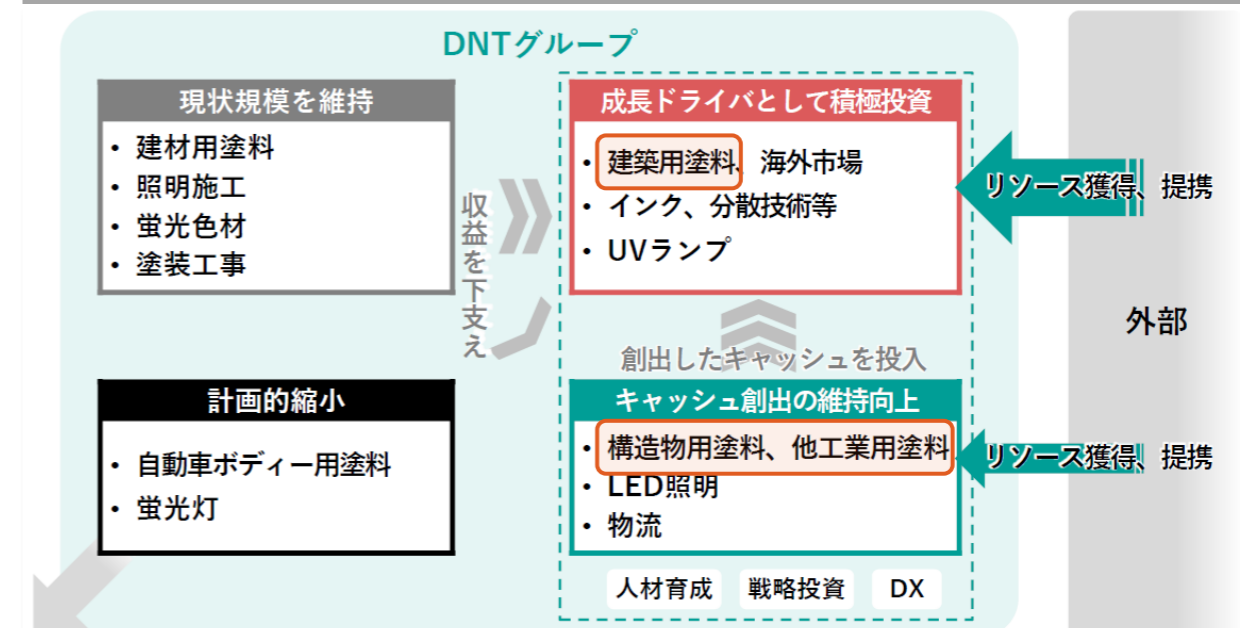
当社への子会社化と同時に、
 「**ボンフロン株式会社**」へと商号を変更予定。
 ボンフロンシリーズは、40年超にわたるAGC
 コーテック社の看板製品。



2026中計における本件取引の意義

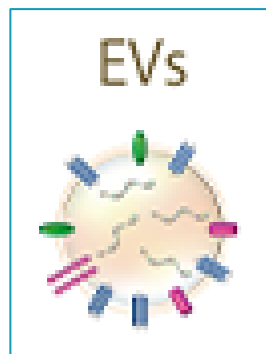
- ✓ AGCコーテックが手掛けるフッ素樹脂塗料の展開分野は、2026中計におけるポートフォリオ整理のうち、
【建築用市場】成長領域
【工業用および防食用市場】キャッシュ創出領域（基幹事業）
 に位置付けており、中計方針の「外部リソース獲得・活用による事業基盤拡大」の実行にも適した取引。
- ✓ 同社のフッ素樹脂塗料は品質や性能面において業界で高く評価されており、当社技術との融合・昇華により**フッ素樹脂塗料市場におけるさらなるプレゼンスの向上**を目論む。

【2026中計の事業ポートフォリオ】



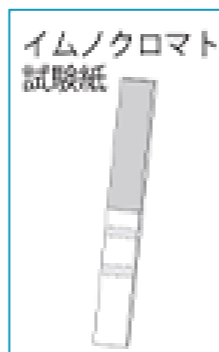
‘25/1より販売開始した米国に続き、欧州21ヵ国、中国、台湾の海外24ヵ国での販売が可能に。

細胞から分泌され、細胞由来の様々な情報を含む粒子
「細胞外小胞(EVs)」



EVsの機能

1. 細胞間コミュニケーション
2. 免疫応答の調節
3. 腫瘍の進展と転移
4. 再生医療
5. バイオマーカーとしての利用



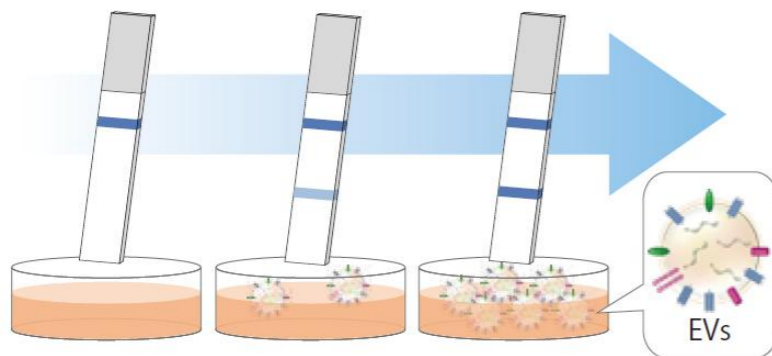
世界初!!

インフルエンザウイルスなどの
診断キットでよく用いられる
「イムノクロマトキット」
で検出可能に！（簡易化）

医療・医薬分野
における研究を
後押し

イムノクロマト試験の定量化を実現（TOPPAN社との共同開発）

①細胞外小胞(EVs)の検出（約45分）



②試験結果の自動定量（数秒）



拡販に向け広告掲載、学会や展示会での出展。実績紹介データの掲載など国内外での認知度向上による拡販を目指す。

機能性酸化物を独自技術で分散

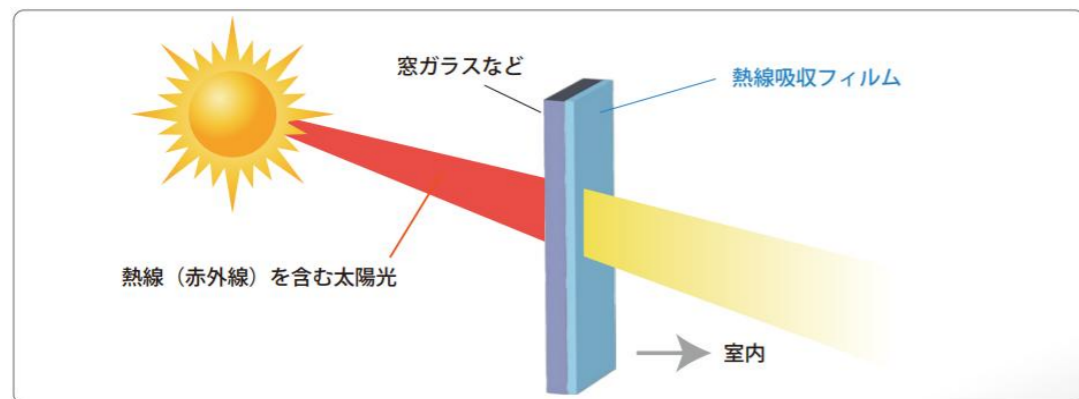
さまざまな機能を持つコーティング剤を展開。新規ユーザー獲得進行、海外への展開も推進。

用途例

帯電防止コーティング材【反射防止、帯電防止】



熱線吸収コーティング材【熱線カット】

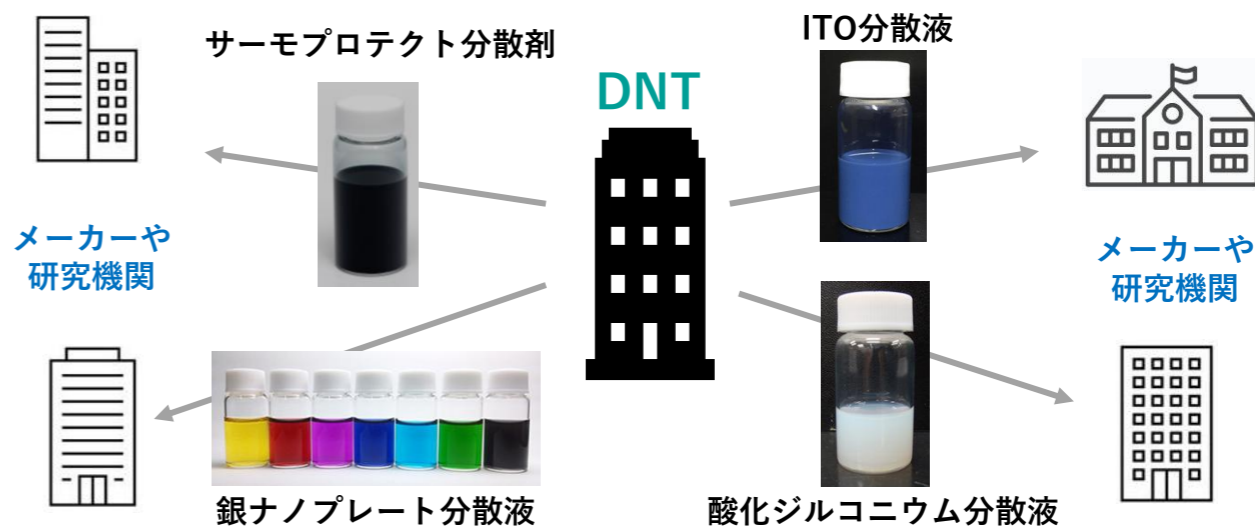


2025年上期の進捗

- 計画にはややビハインドも、新規顧客獲得は進展し前期比では大幅に収益向上。
- 既存ユーザーのラインが再稼働し、受注が復活したことにより数量が積み上げられた。

今後の展望

- 今後、フィルム加工が国内から海外へのシフトも予測されているため、下期は海外案件の取引開始に注力する。
- 国内でもすでに取引を開始しているユーザーとの関係強化を行い、既存テーマの拡大、及び新規案件獲得を目指す。



株主還元・成長投資を優先的に実行、営業CFの改善に努める

キャッシュインの進捗状況

営業CF FY24実績： 35億円
FY25見込： 30-35億円

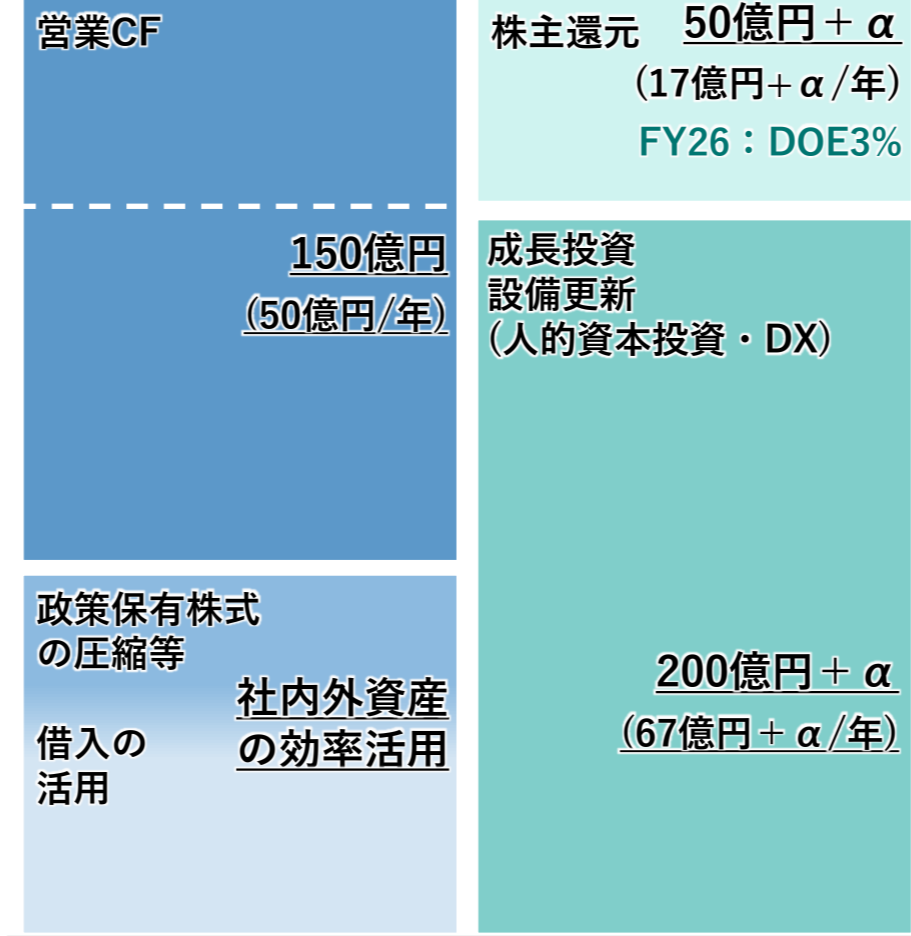
計画にはビハインド
収益改善に努める

政策保有株式売却高
FY24実績： 28億円
FY25見込： 15億円

借入の活用(前期末比増加額)
FY24実績： 15億円
FY25見込： 40-50億円

遊休資産と借入の活用を進める

2024-2026年度 3か年累計（計画）



キャッシュイン

キャッシュアウト

キャッシュアウトの進捗状況

配当総額 FY24実績： 13.9億円
FY25計画： 約16.5億円

計画に基づき還元強化を進める

投資額 FY24実績： 67億円
(設備投資 51億円)
(神東M&A16億円)
FY25見込： 約70億円
(AGCコーテック買収含む)

将来を見据えた大型投資を複数敢行

当社グループにおける不適切行為及びJISマーク表示の一時停止等の経緯

年月	内容	
2023年10月26日	JISマーク表示の一時停止等について（一度目の事案）	公表資料
2023年10月27日	特別調査委員会の設置に関するお知らせ	公表資料
2024年03月07日	JISマーク表示の一時停止の解除について	公表資料
一度目の事案を受け、再発防止活動に取り組むなかで外注管理に係る社内ルールの逸脱等を確認。 当該事象を日本塗料検査協会へ自主報告。		
2024年11月29日	JISマーク表示の一時停止のお知らせ（二度目の事案）	公表資料
2025年05月12日	当社グループの不適切行為に関する調査報告書公表のお知らせ	公表資料
2025年11月14日	JISマーク表示の一時停止の解除について	公表資料
	品質不適切事案に対する再発防止策の進捗について	公表資料

当社では二度にわたって品質事案を引き起こしたことを重く受け止め、全社を挙げた再発防止活動に取り組んでおり、特別調査委員会による調査報告書の受領後はその提言を踏まえ、社内体制や活動内容を強化し、実行しております。その進捗状況についての詳細は当社HPをご覧ください。
(https://www.dnt.co.jp/release/upload_files/news251114-2.pdf)

JISマーク表示の一時停止処分に関しては、日本塗料検査協会の指導に基づいた品質管理体制の見直し・強化を進めてまいり、その結果、2025年11月14日付で処分の解除通知を受領するに至りました。引き続き、グループ全体の品質ガバナンスの維持強化に取り組んでまいります。

なお、2025年11月7日の決算短信において修正した「2026年3月期通期 連結業績予想」には、本年11月中の処分解除を織り込んでおりません。本件解除による影響については今後精査し、開示すべき必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

新倉庫を建設し、基幹となる物流拠点を 滋賀へ移転・集約

- 既存生産拠点内に物流の基幹拠点を移転・整備
→ **グループ資産の効率活用**および**拠点間輸送の削減**
- 高層自動ラックや移動ラックの導入
→ **保管効率の向上、荷役業務の省人化**
- 大型車両の待機スペースと広めの集荷場所を確保
→ **2024年問題を踏まえ運送業者の負荷軽減**を企図
- 職場環境の改善による従業員エンゲージメントを改善
→ 慢性的に不足する**生産、物流現場の人員確保**を図る

完成イメージ図（2025年12月末完成予定）



働き方改革と物流問題に応える、 中継輸送による物流体制を開始

1. ドライバーの働きやすさを確保

中継拠点で荷物を引き継ぐ輸送を導入。当社の生産拠点である栃木から大阪までの輸送もドライバーが日帰りで運行できる体制を実現。2024年問題に伴う労働時間規制への対応としての効果を発揮。



2. 輸送効率を大幅に向上

運転席部分と荷台が分離可能な分離型トレーラーを導入。中継拠点でドライバーが交代する際も荷物の積み下ろしが不要となり、交代の待ち時間や積み替え作業が大幅に削減。

3. CO₂排出量の削減

中継輸送により1回の輸送で運べる量が倍増するため、往復回数を減らすことができ、CO₂排出量の削減にも繋がる。栃木 - 大阪間の輸送では、従来と比べて排出量は約38%削減を見込む。

Part I . 決算実績・業績予想 p. 2

Part II . 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 27

連結損益計算書（四半期推移）

(百万円)	FY22				FY23				FY24				FY25	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	17,094	17,760	19,266	18,727	17,814	18,556	18,411	17,158	17,483	18,652	18,972	17,403	22,300	23,664
Q/Q増減率(%)	2.2	3.9	8.5	△ 2.8	△ 4.9	4.2	△ 0.8	△ 6.8	1.9	6.7	1.7	△ 8.3	28.1	6.1
国内塗料	12,810	13,207	13,879	13,353	12,701	13,233	13,084	11,531	12,404	13,197	13,486	11,832	17,287	18,179
海外塗料	1,844	1,698	2,374	2,148	2,127	2,111	2,176	2,113	1,965	2,156	2,068	1,942	2,034	2,121
照明機器	1,768	2,138	2,176	2,474	2,253	2,425	2,308	2,699	2,366	2,566	2,616	2,868	2,274	2,603
蛍光色材	289	268	301	294	280	337	278	279	292	267	286	311	279	259
その他	381	447	535	456	451	448	563	534	454	463	513	448	425	501
売上総利益	4,833	5,175	5,489	5,118	5,471	5,668	5,519	5,145	5,400	5,749	5,981	5,331	6,172	6,454
売上高売上総利益率(%)	28.3	29.1	28.5	27.3	30.7	30.5	30.0	30.0	30.9	30.8	31.5	30.6	27.7	27.3
販売管理費	4,130	4,104	4,227	4,207	4,269	4,154	4,303	4,175	4,309	4,316	4,548	4,573	5,467	5,341
売上高販売管理費率(%)	24.2	23.1	21.9	22.5	24.0	22.4	23.4	24.3	24.6	23.1	24.0	26.3	24.5	22.6
営業利益	702	1,070	1,262	910	1,201	1,513	1,215	969	1,091	1,433	1,433	758	705	1,112
Q/Q増減率(%)	21.7	52.4	17.8	△ 27.9	32.0	26.0	△ 19.7	△ 20.2	12.5	31.3	0.0	△ 47.1	△ 7.0	57.9
売上高営業利益率(%)	4.1	6.0	6.6	4.9	6.7	8.2	6.6	5.7	6.2	7.7	7.6	4.4	3.2	4.7
国内塗料	343	486	771	385	586	765	627	221	436	692	725	114	149	393
海外塗料	95	93	53	△ 38	105	136	10	163	75	78	103	△ 18	112	127
照明機器	169	348	356	411	423	490	449	526	467	563	474	558	344	500
蛍光色材	18	14	24	13	7	6	6	7	13	18	6	20	12	5
その他	32	31	40	54	18	26	64	27	16	0	42	20	18	9
調整	44	95	15	83	58	87	57	23	80	81	81	61	67	76
経常利益	922	1,109	1,251	1,033	1,362	1,598	1,310	1,065	1,382	1,382	1,675	759	848	1,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	594	728	861	1,273	910	1,046	772	1,871	1,162	1,553	996	5,723	381	1,023

連結損益計算書（年度推移）

(百万円)	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24
売上高	72,623	73,005	76,388	72,789	74,119	73,743	72,709	63,160	66,948	72,849	71,940	72,511
Y/Y増減率(%)	2.5	0.5	4.6	△ 4.7	1.8	△ 0.5	△ 1.4	△ 13.1	6.0	8.8	△ 1.2	0.8
国内塗料	53,438	53,045	55,508	53,498	53,374	52,972	51,861	47,232	49,622	53,250	50,551	50,921
海外塗料	6,751	7,464	7,467	7,019	7,960	8,063	7,290	5,486	6,939	8,066	8,529	8,133
照明機器	8,998	9,131	9,694	9,092	9,470	9,377	10,135	7,239	7,656	8,557	9,686	10,418
蛍光色材	1,539	1,401	1,432	1,377	1,275	1,287	1,337	1,117	1,223	1,154	1,175	1,158
その他	1,893	1,961	2,284	1,801	2,038	2,041	2,084	2,084	1,507	1,820	1,997	1,879
売上総利益	20,109	20,040	21,906	22,649	22,813	21,833	21,800	19,165	19,658	20,616	21,804	22,463
売上高総利益率(%)	27.7	27.5	28.7	31.1	30.8	29.6	30.0	30.3	29.4	28.3	30.3	31.0
販売管理費	15,835	15,612	16,047	16,115	16,224	15,794	16,252	16,336	16,474	16,670	16,902	17,747
売上高販売管理費率(%)	21.8	21.4	21.0	22.1	21.9	21.4	22.4	25.9	24.6	22.9	23.5	24.5
営業利益	4,274	4,428	5,858	6,533	6,588	6,039	5,547	2,828	3,183	3,946	4,901	4,716
Y/Y増減率(%)	53.8	3.6	32.3	11.5	0.8	△ 8.3	△ 8.1	△ 49.0	12.5	24.0	24.2	△ 3.8
売上高営業利益率(%)	5.9	6.1	7.7	9.0	8.9	8.2	7.6	4.5	4.8	5.4	6.8	6.5
国内塗料	2,506	2,351	3,785	3,886	3,466	2,934	2,464	1,631	1,990	1,986	2,200	1,968
海外塗料	501	763	775	1,186	1,405	1,190	843	221	236	203	416	238
照明機器	740	785	688	931	1,146	1,238	1,639	479	577	1,285	1,890	2,063
蛍光色材	230	154	171	135	119	74	116	54	46	71	28	59
その他	173	177	202	158	213	315	217	257	114	159	138	79
調整	122	194	235	234	236	285	266	183	218	238	227	305
経常利益	4,210	4,498	5,559	6,600	6,392	6,210	5,786	3,268	3,465	4,316	5,336	5,199
親会社株主に帰属する当期純利益	2,592	2,756	3,614	5,199	4,573	3,604	3,662	1,968	2,031	3,458	4,600	9,437

* FY20以降の経営指標については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020/3/31）を適用した数値を記載しております。

その他の連結経営指標

(百万円)	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24
貸借対照表												
資産合計	65,291	69,252	67,732	70,374	76,155	78,880	76,817	85,765	87,705	92,805	101,618	133,344
負債合計	42,312	40,811	37,112	34,055	32,806	33,796	32,138	34,900	35,713	37,594	39,128	57,173
純資産	22,978	28,441	30,620	36,319	43,349	45,083	44,679	50,865	51,991	55,210	62,490	76,170
株主資本	18,329	20,455	23,382	27,777	31,385	33,868	36,491	37,754	39,101	42,112	46,026	54,515
自己資本	21,883	26,474	28,647	34,103	40,747	42,275	41,762	48,069	49,015	52,033	59,550	65,027
キャッシュフロー												
営業CF	6,499	4,783	5,785	6,133	5,315	4,358	4,434	3,641	3,364	1,282	3,463	3,570
投資CF	△ 1,359	△ 1,838	△ 718	637	△ 398	△ 2,470	△ 4,424	△ 2,325	△ 966	△ 1,449	△ 772	△ 364
財務CF	△ 4,987	△ 2,977	△ 4,317	△ 5,808	△ 4,747	△ 351	△ 742	499	△ 2,841	△ 473	△ 1,657	△ 75
現金及び現金同等物期末残高	2,379	2,444	3,072	3,953	4,256	5,704	5,064	6,736	6,479	6,340	7,867	11,469
その他指標												
期末発行済み株式総数	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710
期末自己株式数	12	13	310	610	819	1,115	1,408	1,405	1,377	1,273	1,246	1,213
EPS（1株当たり当期純利益）	87.28	92.83	122.38	178.06	157.70	125.61	128.96	69.55	71.74	121.78	161.70	331.40
BPS（1株当たり純資産）	736.86	891.46	974.38	1,171.93	1,410.38	1,478.43	1,475.59	1,698.23	1,730.00	1,829.75	2,092.10	2,281.92
1株当たり配当	12.50	15.00	17.50	20.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	35.00	49.00
配当総額	371	445	514	582	722	714	707	707	708	710	996	1,396
DOE(前期末株主資本 配当率)	2.3%	2.0%	2.5%	2.5%	2.6%	2.3%	2.1%	1.9%	1.9%	1.8%	2.4%	3.0%
自己資本比率	33.5%	38.2%	42.3%	48.5%	53.5%	53.6%	54.4%	56.0%	55.9%	56.1%	58.6%	48.8%
ROE	12.9%	11.4%	13.1%	16.6%	12.2%	8.7%	8.7%	4.4%	4.2%	6.8%	8.2%	15.2%
NOPAT-ROE	14.8%	12.7%	14.8%	14.5%	12.2%	10.1%	9.2%	4.4%	4.6%	5.4%	6.1%	5.3%

* 当社は2017/10/1付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、上記記載は**併合前の年度も併合後の株数に置換えて**記載しております。

○パラリンアートへの協賛



【作品名】いのちの芽吹き
【作者名】Raphael Princess さん

「パラリンアート」は、(一社)障がい者自立推進機構が運営する、障がい者アーティストの経済的な自立を目的とする社会貢献型事業です。

協賛する個人や企業が作品の使用権を取得することで、作者に報酬が支払われます。

当社は2022年よりこの活動に協賛し、オフィシャルパートナーとして作品を活用しており、本資料のデザインにも全面的に使用させていただいております。



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。



大日本塗料株式会社

〒542-0081 大阪府中央区南船場1丁目18-11

Tel : 06-6266-3100 (代表)

公式HP : <https://www.dnt.co.jp/>

Mail : dnt10011100@star.dnt.co.jp (IRに関するご連絡)

○IRメール配信サービス

大日本塗料の決算や経営計画の発表、その他適時開示情報、株主の皆様へのご案内などを、タイムリーに配信しております。

ご登録はこちら : <https://www.magicalir.net/4611/mail/index.php>

○公式SNS

